

けいれん患者における MRI 拡散強調画像の臨床的意義に関する研究

1. 研究の対象

(1) けいれん重積患者における拡散強調画像高信号

2013年4月から2016年9月までにけいれん発作を主訴に当院に入院した患者

(2) 脳梗塞患者における early seizure

2013年4月から2016年9月までに当院に入院し虚血性脳卒中と診断された患者

2. 研究目的・方法

本研究の目的はこのようなけいれん発症患者について、(1) けいれん重積自体による変化、虚血性脳卒中による変化、それ以外、の画像上の特徴を明らかにし、さらにけいれん重積における拡散強調画像高信号の出現頻度、出現例の背景因子、臨床像を明らかにすること。(2) 脳梗塞患者における early および onset seizure の「真の」頻度、出現例の背景因子、臨床像を明らかにすることである。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ・年齢、性別、発症日、入院日
- ・発症前 mRS, 危険因子(高血圧, 糖尿病, 脂質異常症, 喫煙, 心房細動, 虚血性心疾患, 虚血性脳卒中)
- ・発症時 GCS, 血圧, 脈拍, 体温
- ・Ht, Na, K, BS, Alb, BUN, Cre, CK, MB, PTINR, D-dimer, 下肢静脈エコー実施例では DVT の有無
- ・脳卒中既往
- ・発症時 NIHSS
- ・脳卒中 TOAST 病型(心原塞栓性, アテローム血栓性, ラクナ, その他, 未同定, TIA 一過性黒内障), 責任血管(内頸/椎骨脳底動脈系, 両方, 不明)
- ・てんかん病型(二次性全般化を含む局在性, 全般性, ミオクロニー)
- ・退院時 NIHSS, mRS, 3ヶ月後 mRS, 居住場所 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

済生会熊本病院

電話：096-351-8000(代)

研究責任者：神経内科 副部長 稲富 雄一郎

以上